# ガーナでそろばんプロジェクト 102 号（2022 年 11 月 04 日）

★知ってほしい。そろばんの計算の仕方がわかると楽しいんだという事を　★

前号の報告に引き続き、十月も五年生のクラスは、そろばんの計算の仕方の強化授業でした。そろばんを子どもの時に習っていた私は、小学校の授業で習うひっ算がとても苦手でした。ひっ算を習う時分にはすでに計算の仕方がそろばん脳で、なぜ学校で習う計算は一の位から順番に繰り上がっていかないとならないのか？位の頭から計算したほうが断然速く計算ができるのに・・というのが子ども心に抱いた思いで、正直今も子どもにこのひっ算を教えるのが自分の子どもの頃のトラウマなのか？苦手意識を持っているのです。よくそろばんを習っていた人、習っている人が数字を見たり読んだりする時、その数字がそろばんの珠に成っていると聞きます。私も数字がそのそろばんの珠に成っています。そして計算の時は、瞬時にmake10,make5のもと頭の中で計算されるのです。しかし、このようにそろばん暗算脳が出来ている子どもに対して、昨今学校の先生は“そろばんの計算もいいけど、ひっ算も練習して”と指導する方もいるようで驚きました。

さて、村の活動の話しに戻します。五年生の子どもにも今回初めて私が数字を見た時にどう見えるのか？と黒板にそろばんの珠を書き話しをしました。Make10,make5の大切さも毎回伝えている中で今回も話しをしました。そして今回の授業は繰り下がりのある引き算で、make10 Make5 を瞬時に計算するものです。やはり、前回の報告同様に、そろばんの計算の仕方を理解している子どもは“前に出てやりたい”と手を挙げアピールしました。どうしても写真に納めるのはどうしてもそうした理解している子どもたちばかりになってしまいます。しかし、こうした子どもたちが良い意味で起爆剤となり、ただその時間をボーッと過ごしているこどもたちがやる気を起こしてくれると良いなと思うのです。そして、そろばんの計算の仕方がわかると算数が勉強がもっともっと楽しくなることに気づいてくれることを願うのです。

報告　TOSHIKO

協賛

トモエそろばん様